

栗原の稲作通信

令和3年第3号 令和3年6月22日発行

宮城県栗原農業改良普及センター

宮城県米づくり推進栗原地方本部

電話番号 0228-22-9404

残苗は直ちに処分しましょう / 有効茎数に達したら中干しをしましょう

気象経過

- 6月上旬から中旬にかけては、気温は高く、日照時間は平年並で推移しました。降水量は6月4日に築館で77.5mmの降雨を観測したため、上旬は多く、中旬は少なくなりました。
- 東北地方は6月19日ごろ、梅雨入りしたと見られます（仙台管区气象台発表）。

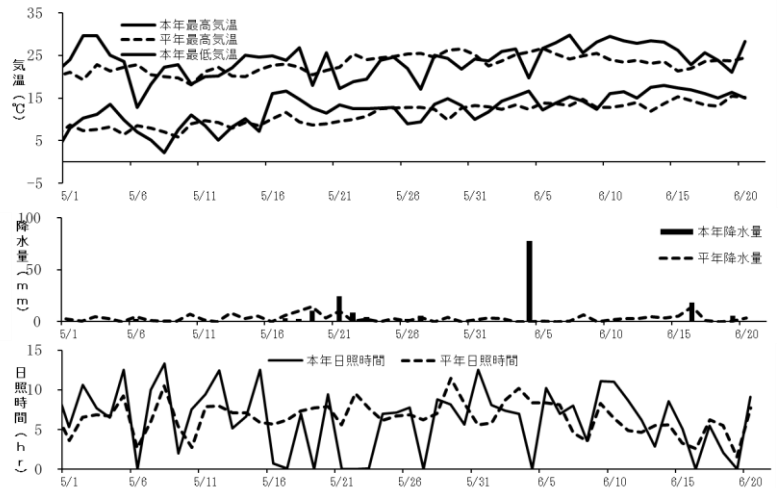
東北地方1か月予報 期間：6/19～7/18
令和3年6月17日 仙台管区气象台発表抜粋

予報のポイント

暖かい空気に覆われやすい2週目の気温は高いでしょう。平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

予想される向こう1か月の天候

平均気温：ほぼ平年並 の見込み
日照時間：ほぼ平年並 の見込み
降水量：ほぼ平年並 の見込み



生育経過（6月21日現在）

気象経過（アメダス築館）*点線は平年(過去5か年平均)

■生育調査ほ（移植）

- 管内のひとめぼれでは、草丈は平年より長く、茎数は平年より多く、葉色は平年並です。葉数は平年並からやや少ないですが、生育は順調です。
- ひとめぼれ（築館、若柳）では有効茎数（410～460本/m²）を確保し、中干しの時期となっています。

表1 生育調査ほ調査結果（6月21日現在）

品 種	地 区	田植日	草丈(cm)		茎数(本/m ²)			葉数(枚)			葉色(GM値)			
			本年	前年比 (%)	平年比 (%)	本年	前年比 (%)	平年比 (%)	本年	前年差 (枚)	平年差 (枚)	本年	前年差	平年差
ひとめぼれ	築館	5/9	47	107	112	578	127	109	8.8	-0.6	-0.5	43.4	0.3	0.3
ひとめぼれ	若柳	5/19	38	102	108	514	130	108	8.3	0.0	-0.2	44.7	-2.0	0.2
ひとめぼれ	一迫	5/8	36	104	-	396	152	-	8.3	-0.7	-	41.4	0.8	-
ひとめぼれ	管内平均	5/12	41	105	-	496	134	-	8.5	-0.4	-	43.2	-0.3	-
ひとめぼれ	古川農試	5/10	39	117	119	566	142	119	8.7	0.7	0.9	45.5	4.2	1.4
ひとめぼれ	県平均	-	41	108	114	455	112	110	-	-	-	42.6	-0.2	0.2
つや姫	築館	5/24	34	102	102	188	75	64	7.8	0.0	-0.1	44.3	1.7	-0.5
だて正夢	築館	5/20	39	112	-	334	114	-	7.8	0.3	-	45.2	1.4	-
萌えみのり	金成	5/13	40	105	108	344	117	131	9.2	0.0	0.6	47.1	-1.7	0.0

注1:平年値は過去5か年平均。

注2:一迫ひとめぼれ、築館だて正夢は令和2年から調査農家変更のため平年値はなし。

注3:ひとめぼれ管内平均は築館、若柳、一迫3か所の平均値。

注4:ひとめぼれ県平均は、県内各普及センター生育調査ほ+古川農業試験場作況試験ほ（5/1,5/20移植除く）の平均値。

■直播展示ほの生育状況

- ・前年より茎数は多く、生育は良好です。

表2 直播展示ほ調査結果（6月21日現在） *べんもり湛水直播（点播）

品 種	播種日		草丈(cm)		茎数(本/m ²)		葉数(枚)		葉色(GM値)	
	本年	前年差	本年	前年比(%)	本年	前年比(%)	本年	前年差	本年	前年差
萌えみのり	5月11日	3日遅	25	95	326	131	6.2	-0.2	39.5	-0.5

今後の管理 有効茎数に達したほ場が多くみられます。ほ場で茎数を数え、適期に中干しを行いましょ。

■水管理

- ・有効茎数を確保したほ場 …直ちに中干しを行いましょ。
- ・有効茎数を確保していないほ場 …水深2～3cmの浅水により分けつの発生を促しましょ。
- ・中干しの期間は7～10日間とし、遅くとも幼穂形成期（ひとめぼれで7月第2半旬頃）の前には終了しましょ。中干しの程度は、田面に小さな亀裂が入り、軽く足跡がつく程度としましょ。
- ・排水不良田や大区画水田では、排水を促すため溝切りを行いましょ。
- ・湛水直播栽培では、7～8葉期に目標茎数を確保したら直ちに中干しを行いましょ。鉄コーティングは、表面播種のため転び型倒伏が発生しやすいので、強めの中干しが必要です。
- ・金のいぶきは、根が傷みやすいので強い中干しは避けましょ。

表3 有効茎数の目安

品 種	1株当たり茎数（本）			m ² 当たり茎数（本）
	50株植え	60株植え	70株植え	
ひとめぼれ	27～30	23～28	19～22	410～460
ササニシキ	32～34	26～28	23～24	480～510
つ や 姫	26～29	22～24	19～21	400～440
だて正夢	—	19～22	17～19	350～400
金のいぶき	29～32	24～27	21～23	440～490

■いもち病対策

- ・残苗はいもち病の発生源となります。直ちに処分しましょ。
- ・本田においていもち病の発生が確認された場合は、茎葉散布剤により直ちに防除しましょ。
- ・金のいぶきはいもち病に非常に弱い品種です。箱施用剤と水面施用剤による2回防除を必ず実施しましょ。また、必要に応じて出穂直前に茎葉散布剤で穂いもち防除を行いましょ。

■斑点米カメムシ対策（雑草防除）

- ・畦畔や農道等のイネ科雑草は斑点米カメムシ類の増殖源となるので、計画的に草刈りを行いましょ。
- ・本田内のイヌホタルイにより落等の確率が高まるので、7月上旬までに追加防除を行いましょ。

表4 イヌホタルイの発生量に基づく斑点米被害リスク

6月下旬の株数	落等(2等以下)確率
1 株/m ²	30 %
16 株/m ²	50 %
42 株/m ²	70 %
90 株/m ²	90 %

*水田内でイヌホタルイが密生しているところ1か所を調査（条間1m内の株数を3.3して1m²当たりの株数を求める）
*普及に移す技術第87号より抜粋

農薬危害防止運動実施中 実施期間 6月1日～8月31日

農薬の使用に当たっては、必ずラベルに記載された適用病害虫、使用方法、最終有効年限などを確認して、定められた方法を厳守しましょ。最新の農薬登録情報は、(独)農林水産消費安全技術センターのホームページで確認することができます。